

平成28年度伊豆の国市大仁中学校区学校別道徳教育の全体計画 《大仁北小学校》

合い言葉 「北っ子は、人にも物にも思いやり」

<p>関係法規 ○日本国憲法 ○教育基本法 ○改正学習指導要領 ○県教育目標「有徳の人」づくりアクションプラン ○伊豆の国市教育大綱 人を大切にできる“ひと”づくり ふるさとを誇れる“ひと”づくり 世界にはばたく“ひと”づくり</p>	<p>学校教育目標 自分のよさを生かし 共に学び やりぬく子</p>	<p>大仁中学校区道徳教育推進研修主題 豊かな感性をはぐくみ、 ともによりよく生きる児童・生徒の育成 ～内省と実践をつなぐ道徳教育を目指して～</p>
<p>生徒の実態・保護者、教職員の願い 児童の実態 ・下級生の面倒見が良く、友達とも仲良くできる優しい子が多い。 ・決められたことには一生懸命取り組むが、向上心や粘り強さには欠ける面がある。 保護者・教職員の願い ・学力や生きる力の育成 ・社会性の育成 ・自分の考えを伝える力の育成</p>	<p>道徳教育目標 自分に自信をもち 思いやりの心をもって よりよく生きようとする子の育成</p>	<p>大仁中学校区目指す生徒像 豊かな情操と思いやりの心おもち、集団や社会の一員として自ら考え判断し行動できる生徒</p>
		<p>研修主題 価値を焦点化し、議論する道徳の授業を通して、発達段階に応じた道徳性を養う。</p>

大仁中学校区 小中合同の重点内容項目			
A 善悪の判断、自律、自由と責任	B 親切、思いやり	C 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態	D 生命の尊重

各教科		道徳の時間の指導方針	
各教科の特質に応じて		<ul style="list-style-type: none"> 児童と教師との心の交流を図り、よりよい生き方について共に追究する。 児童理解を深め、一人一人のよさや特性を生かすような授業をつくる。 指導方法の開発に努め、学習活動の多様化に留意し、話し合い活動などを重視する。 年間計画に基づいて指導するとともに、計画の評価、改善を行う。 	
国語	登場人物や筆者の思いを考へることにより、相手のことを思いやり、親切にしようとする。(B)	<p>特別活動 望ましい集団活動を通して、自主的実践的な態度を育てる。 ・望ましい集団活動を通して心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする。自主的、実践的な態度を育てると共に、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。</p> <p>学級活動 当番活動や集会活動を通して、学級の一人としての役割を自覚し、進んで友達と協力する。(A)</p> <p>クラブ活動 共通の興味関心を追求する集団の中で、思いやりの気持ちをもって自主的に活動に参加する。(B)</p> <p>児童会活動 自発的・自治的活動を通して、学校の一人出あることを自覚し、よりよい学校生活をするために、自主的・自発的に参画する。(C)</p> <p>学校行事 学校生活の充実と発展に資する体験的活動を通して、協力・責任・勤労・社会奉仕などの道徳性を身につける。(A)</p>	
社会	我が国や郷土の伝統と文化を大切に、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつ。(C)		
算数	筋道を立てて考え、表現したり数理的に物事を考えたり処理したりするところを通して、自分の生活に生かそうとする。(A)		
理科	観察や実験を通して、自然に親しみ、生き物の命や自然環境を大切にしようとする。(D)		
生活	学校生活を楽しいものにしようしたり、日頃お世話になっている人々に感謝する気持ちをもつ。(B)		
音楽	共通教材や鑑賞曲において、日本語の語感を楽しんだり、日本の音楽の特徴を感じ取ったり、そのよさを味わったりする。(C)		
図工	つくりだす喜びを味わうことを通して、美しいものや崇高なものを尊重するようになる。(D)		
体育	集団でのゲームなど運動することを通して、粘り強くやり遂げたり、決まりを守ったりする。生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直す。(A)		
家庭	自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さに気づく。(D)		
外国語	外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深める。(C)		
総合的な学習の時間		<p>自ら課題を見つけ、問題解決や探究的な活動を通して、よりよく問題を解決し、自己の生き方を考えて行動する。(C)</p>	

人権教育	特別支援教育	キャリア教育
一人一人がかけがえのない存在であることを強く認識し、思いを大切にしようとする。(D)	個別の指導計画、支援計画に基づいた支援に沿った学びを深め、よりよい人間関係をつくり上げる力をつける。(B)	身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。(A)

児童理解
児童一人一人の個性の伸長を図りながら、社会的な資質や能力、態度を育成する。将来において社会的に自己実現できる資質や能力、態度を育成していくための指導、援助を行うことで、児童一人一人の自己肯定感及び自己指導能力の育成をめざす。

- 児童が自己決定する場を設定する。
- 児童が自己肯定感を感じられる場を設定する。
- 教師と児童の間の信頼関係づくりを大切に、人間的なふれあいを通して共感的な理解を図る。
- 一人一人の人間として生徒に接していく教師の態度を、好ましい人間関係を築く基本とする。

横の連携		縦の連携 (保幼小中)	
家庭との連携	学級・学校環境	小中との連携	
<p>学校の道徳教育の実態について、保護者が理解を深め、基本的な生活習慣の定着や道徳の実践などにおける役割を認識する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳授業参観実施 道徳の授業への保護者の参加 授業参観後の懇談 学校、学年、学級、道徳だよりの発行 「私たちの道徳」 PTA役員との連携 保護者代表による道徳教育協力委員と懇談 	<p>道徳教育における指導内容を日常生活に生かし、よりよい生き方についての自覚を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> エンカウンターを中心とした人間関係づくりプログラムの実施 教育相談週間の設定 一人一役等、係活動の充実による自己有用感が感じられる集団づくり 学級の成長、向上が成 整理整頓の徹底による学習環境の整備 	<p>道徳教育の意義とねらいを周知し、共通実践を通して授業改善を行い、指導力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業のための指導案検討会や先行授業の実施、事後研修の実施 夏休みの課題「お手伝い新聞」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ★目指す生徒像の共有化 ★保幼小中の道徳性連携目標 ★重点項目の共通化 (連携カリキュラム) ★保幼小中の授業交流、授業参観の実施 ★保幼小中ふれあいお手伝いノーマメディアディ (地区一斉毎月第2火曜日)

平成28年度伊豆の国市教育委員会における取組

- 発達段階を考慮した、重点項目の設定 (保幼小中連携教育の推進)
- 家庭・地域との連携 (ホームページや学校だより、大仁中学区道徳だよりによる情報の発信、区長会連携)
 - ★道徳教育実践発信「伊豆の国の教育」特集号「市教育研究実践発表」
 - ★「道徳講演会」田方地区PTA指導者研修講演会
「学力向上と家庭教育」～学力育成の基盤は道徳性から～
- 道徳教育推進委員 (PTA役員) の委嘱 (「私たちの道徳」の活用促進)